

2021

レース結果報告書

27 全日本選手権 第5戦 鈴鹿大会 28



株式会社ドッグファイトレーシング

全日本選手権・レース結果

Race

好調な豊島は今回から新型にマシンをスイッチしてフライバイワイヤになったアクセルとの連動やエンジンブレーキなど細やかな感触を合わせ込みながらセットアップを詰めて鈴鹿に臨みました。筑波で苦戦した谷本も鈴鹿は最も得意なコースなので本来の成長を見せる場として静かに闘志を燃やしております。藤田も徐々に復調して相性の良い鈴鹿で本来の走りを取り戻せるか正念場の一戦です。若い二人が切磋琢磨して藤田を追い越してゆきましたがこのままでは終われない藤田の逆襲に期待です。そして中澤も今年の最終戦のつもりの意気込みで気合いをいれて鈴鹿に乗り込んできました。2015年の鈴鹿8時間耐久で記録した自己ベストを更新して気持ちよく締めくくれるか大事な1戦です。4者4様の思い出臨んだ鈴鹿大会。そのレース結果をご報告いたします。

タイトル：全日本選手権 第5戦 鈴鹿サーキット

開催日：2021年7月16～18日

観客動員：10500人

YouTube視聴回数：7/18（日）14万回再生

リザルト：#47	豊島 怜	予選13位	決勝7位	ランキング6位
#4	藤田拓哉	予選17位	決勝10位	ランキング9位
#17	谷本音虹郎	予選11位	決勝17位	ランキング22位
#31	中澤孝之	予選33位	決勝31位	

レースウイークの詳細は以下のブログにも掲載中です。

レース報告ブログ：<https://ameblo.jp/dfrboss/entry-12687118954.html>

レース報告・豊島怜 #47

Race

今回から新型R1にマシンが変わり、マシンに慣れるために全セッションいつも以上に集中して走行し、マシンへの理解と同時にタイムも上げる事ができました。レースウィーク2日間のテストでは走り込みを中心に順調にタイムアップをすることが出来、2分10秒台に入れて常にトップ10にいる事ができました。しかし、予選で少しでも前のグリッドにいたいという気持ちが先行してしまい、位置取りも悪く、走りのリズムが崩れてベスト更新ならず13番手となりました。

決勝は5列目からのスタートとなり、1周目のシケインで集団から抜けた時には前の上位集団との差が広がってしまい、自己ベストを更新しながら全力でプッシュしましたが、追いつかず単独走行で7位でレースを終えました。向かい風が強クスリップストリームに入れる距離にいれなかったのは予選順位が悪かったのが原因です。

今回は本当に内容の濃い充実したレースウィークでした。短い時間の中でマシンへの理解を深め、自分のライディングとマッチさせタイムを上げるという作業に徹底しました。やはりまだセッティングなど詰めきれていない部分は、次戦の岡山のテストでしっかりとクリアしていきたいと思います。今は伸び代を沢山感じれてこれから残り2戦が楽しみです。

暑い中、チーム関係者をはじめ、スポンサー各位、応援して下さった皆様ありがとうございました。



レース報告・藤田拓哉 #4

Race

今回は木曜日からのテストでスタートしました。木曜日のテストから自分の課題である、進入時のスピードアップを改善する為に、意識して集中力を切らさないように走りました。木曜日金曜日のテストともにだんだん改善している方向でテストを終了。土曜日の予選では、走りが良くなってきている方向でしたが、まだまだ改善が必要。内心、走りを変える事はそう簡単な事ではなく、300キロ近い速度で走っている中で、更にもっと奥に突っ込もうとするとまだ恐怖心がありました。

日曜日の決勝では、スタートが上手く行き、とにかく前に前に走りました。その中で1コーナーで進入時に他者のライダーと走るとまだまだ奥に行ける。自分は何でこんなところでブレーキしているんだと…思いましたが、とにかく攻めました。しかし追い上げも予選の順位が悪すぎて、トップ10以上のライダーに追い付くことが出来ずにチェッカーを受け10位でゴールしました。

今回のレースで確実に走りが進歩していると感じていますが、まだまだ足りない。残り2レースしか有りませんが、とにかく全力で走り、がむしゃらにテストから走ろうと思います。なかなか結果が出ませんが、悔しい気持ちとレースを諦めているわけじゃないので、次戦に向けて腐らず、なりふり構わず、全力でぶった斬りに行きます。

また応援宜しくお願い致します。



レース報告・谷本音虹郎 #17

Race

木曜日の1本目の走行はハーフウェットで殆ど走れませんでした。それ以外の走行はドライコンディションで走る事ができました。前戦の筑波から課題だったウィーク初日の走行のペースも悪くなく、2日間とも順位は変わりませんでした。毎走行タイムアップすることが出来ました。予選はドライコンディションで行われました。序盤に豊島選手に追走する事ができ、ペースを上げ10秒台に入れる事が出来ました。その後もコースイン後にタイミングよく速いライダーに引っ張ってもらいタイムアップする事が出来ました。まだまだ単独になるとペースを上げる事はできませんでしたが、今年初の4列目11番手グリッドを獲得する事が出来ました。

決勝もドライコンディションで行われました。スタートでミスしジャンプスタートをしてしまいました。自分でもジャンプスタートしてしまった事は分かったので、1周目になるべく前に行こうとしたのですがシケインで止まれずオーバーランをしてしまいました。ポジションを大きく落とした次の周にライドスルーペナルティを受けた後は最後尾近くまで下がりましたが諦めず最後まで全力で走り切り10台以上を抜いてポイント圏内には届きませんでした。17位という結果になりました。

今回のレースウィークは今までで1番良い流れでしたが決勝でミスを連発してしまい悔しい結果になりました。ですがレース中のアベレージは悪くなくレース後半になってもペースを維持する事ができたので次戦に向けて良いフィーリングを得ることが出来ました。スポンサーの皆様、チームスタッフ、応援して下さった皆様、沢山のご支援有難うございました。次戦も全力で頑張りますので応援よろしくお願いたします。



レース報告・中澤孝之 #31

Race

木曜日の最初の1セッションを除いて、ドライコンディションが続き、セッションごとにタイムも少しずつ詰めることができ、金曜日の最後には自己ベストのコンマ5秒落ちにまで進めることができました。気温、路面温度ともに真夏のように暑くなった予選。ST1000はお昼の厳しいコンディションでの走行となります。気合いを入れすぎたのか、何もかもが空回りして前日のタイムを更新することができず、33番手に沈んでしまいました。

翌日決勝は少し日が傾く夕方4時スタート。とは言え、やはり気温も路面も温度が高く、難しいコンディションが続きます。前日の予選を失敗しているだけに後方グリッドからのスタートですが、ひたすら前を抜いていくことに集中します。

スタートは無難に順位相当で1コーナーに侵入しますが、さすがに台数が多く、ポジション取りでかなり入り乱れての走行になります。レース中盤は隊列も落ち着き、数台とバトルを続けながら周回を重ねます。レース終盤はスズキの眞鍋選手と23位争いを繰り広げますが何度抜いてもシケインで抜き返されてしまい、ゴールラインでは前に出られてしまいます。西コースで早めに前に出てシケインで前に出れないだけの差をつけたいと考えていた矢先、ダンロップで少しミスをした眞鍋選手と横並びになり、デグナーで前に出ようとした所でフロントからスリップダウン転倒を喫してしまいました。少しコーナー進入ラインがタイトになっていたのですが前に出る気持ちが先に行ってしまう、無理をしてしまいました。チェッカーフラッグを受けることはできませんでしたが、31位完走扱いとなりました。目標としていたベストタイム更新もコンマ2秒至らず。とても悔しいレースとなりました。

今回もAnija様、千葉スチール工業様、Luxuz様を始めとする御協賛戴いている企業様、チームスタッフの皆さん、いつも手弁当で駆けつけてくれる昔からの仲間、応援してくださっている方々の支援により、無事完走する事ができました。心より感謝申し上げます。



監督コメント

Ofisyaru Comment

後半戦のスタートとなる鈴鹿大会ですが、選手の成長や今季の目標を確かめるための大事な1戦として臨みました。育成中の若手二人が確実に成長してきて、藤田を超えるスピードを見せてくれたことは大きな収穫でした。筑波の好調な流れで乗り込んできた豊島でしたが、マシンコントロールが上手になった反面、どのようなセットでもそこそこ乗ってしまうためマシンセットが進まなかった事が今後の課題です。走り慣れた鈴鹿で豊島以上の予選結果を掴んだ谷本は、ペナルティにより順位は落としましたがアベレージは豊島以上のレベルで追い上げていたので自信をもって残り2戦もチャレンジしてほしいと思います。藤田はレースをこなす毎に感触を取り戻してきています。今期の予定は大きく狂ってしまいましたが残り2戦で若い二人を再び突き放し表彰台争いに絡めるような奮起を期待します。中澤は残りのレースは経験のないコースが続きますが何としてもポイントを獲得して今期の参戦の軌跡をリザルトに残せるようチームとしてバックアップしてゆきたいと思います。

成長著しい若手の二人と、リハビリ、ベテランライダーの合計4台体制で残る2戦で最高のレースを見せられるよう頑張ってます。次戦は9月に岡山、オートポリスと連戦となりますがチーム一丸となって臨みたいと思います。

引き続き皆様のご声援・ご支援・ご協力をお願い申し上げます。

ドッグファイトレーシング
代表 室井秀明

スポンサー



竹中興運



ご支援・ご協力を賜り誠に有難うございます。2021年も頑張ります！



DOG FIGHT R

株式会社ドッグファイトレーシング
代表 室井 秀明

〒271-0061

千葉県松戸市栄町西4-1195-4

TEL047-703-3030 / FAX047-308-1122

